

【表紙】

世紀の翼 全一卷

【表紙 裏】

【1頁】

(十六ミリ)

世紀の翼

全一卷 七〇七米

台湾総督府

M弟八二五号

検閲済

有効期間

自昭和一四年四月二十七日

至昭和一七年四月二十六日

活動写真「フィルム」検閲規則

第十条二項に依り手数料ヲ免除ス

障害ナシ

【2頁】

【3頁】

世紀の翼 全一卷

梗概▽連続飛行六十二時間二十二分四十九秒周囲□□万一千六百五十□朔破して堂々

世界新記録を樹立 航空日本の凱歌高々に掲げたる我等の「航研機」生立より

其飛行道程を示す記録映画

字幕

1 サクラグラフ

2 航空日本の覇業成る

世紀の翼 朝日新聞社 制作

- 3 世界記録二つを樹立し我航空術の実力を世界の航空界に示した航研機は
- 4 帝大航空研究所が所内の学者を総動員し六年の長年月に亘って蓄積した努力の結晶である
- 5 風側試験は航空機の制作に最も重要な試験の一つで
- 6 模型飛行機を吊るし電力で風を送りその飛行機が如何なる型に於いて最も良い性能を示すかを試験する

【4頁】

- 7 外翼は木串で布張りした上に塗料を幾面となく吹付け空気の摩擦抵抗を除ける為鏡のやうに磨きすまされる
- 8 胴体は軽金属の合金を縦横に通して造りその骨組の上に一耗内外の金合板を釘打する
- 9 発動機には最も多く苦心を払はれ・・・
- 10 上昇には八百馬力を出すのが長時間の飛行には五百から二百五十馬力しぼつて用い
- 11 一馬力一時間当り燃料消費は従来の発動機に比べ二割ほどの節約が出来る
- 12 脚部引込装置
- 13 燃料油槽
- 14 軽金属で出来た合計十六個のタンクが左右両翼に収められた中には約六千リットルガソリンが入る
- 15 斯くして科学日本の□□を総動員して完成された世紀の翼は試験飛行のスタートを切つた
- 16 世界長距離飛行を目指して
- 17 周囲飛行計画

【5頁】

- 18 5月13日午前4時55分出発
- 19 (地図) 木更津↓銚子
- 20 (〃) 木更津↓銚子↓太田
- 21 (〃) 木更津↓銚子↓太田↓平塚
- 22 (新聞記事) 決意をホープ□翼に“航研隊”快調噴く
- 23 (〃) けれど□翼歴史的覇業 注ぐ月光と世界の曙航研機今晚既に
二十二回
- 24 出発してから第三日二十七周目木更津通過はフランスの保持してゐた記録を美事打破り
- 25 飛行時間6時32分49秒

周回□□一六五耗B29周午後七時18分着陸

26 斯くして世紀の翼の力、航空日本の誇りは全世界に示された

【6頁】

27 世紀の翼 終

―以上―

【データ採録者…岩井秀一郎】【校正…森田健嗣】